



世帯数 5,950戸
人口 14,066人
(令和2.3.1現在)

寿地区三九郎特集

三九郎続けよう!

『三九郎』。それは子どもたちに残したい伝統行事の一つです。

農耕民族であった日本人は、農耕の神である『山の神』を大切にしまいにりました。

〈山の神〉蛇となりて里に下り、かかしとなりて田を守る

春祭りでは山の神様を山からお招きし、田畑を守っていただき、秋祭りでは感謝の心をこめて一旦山にお帰りをいただいたのです。年が明けて元旦、門松を立てて、神様におこしいただきご接待申しあげます。そして『三九郎』と共に山へ帰られお休みいただくのです。私たち子ども会育成会では

は、令和元年11月30日寿公民館大会議室にて『三九郎』つてなーに!!と題して、長野県文化財保護協会理事をされ、数々の研究をされておられる青木教司先生をお招きして講演会を開催しました。

子どもから年配の方まで、多くの方に集ってもらい前述のようなことを学びました。

日本中どこでも行われている火祭り、松本地方では『三九郎』と言っておりますが、以前住んでいた長野で



講演会の様子

は『どんど焼き』と言っていたことを思い出しました。一つの行事をみんなの手で築き上げ継続することは、地域づくりのための礎になると思います。最初は意味が分からなくても、続けていくうちに楽しくなり、自分の力でやりたくなるような子どもたちを育てていくのが私たち大人の責務であると思います。

自分自身が学んだ面白さや楽しさをぜひ後世に伝えていきたいと思っています。面倒くさがらずに住民の力を大いに発揮していきたいでしょう!!

【寿子ども会育成会
五味 富士】



寿地区三九郎の様子



白姫町会 1月12日
新白姫橋北側河川敷



白川町会 1月11日
白川農村公園



寿田川町会 1月11日
田川河川敷



赤木町会 1月12日
赤木地区上の宮



竹原町町会 1月11日
寿運動広場東側の畑



竹瀝町会 1月12日
西木戸田んぼ



寿田町町会 1月11日
田川河川敷



百瀬町会 1月11日
田川河川敷



下瀬黒町会 1月11日
牛伏川西 松岡病院借地



豊町町会 1月12日
豊町公民館前



上瀬黒町会 1月12日
上瀬黒グラウンド



小池町会 1月11日 北部の畑

わがまち歴史

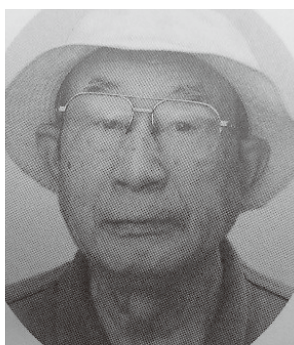


流出してしまいました。

下瀬黒町会は、寿地区の最北端、庄内地区と隣接する町会で、人口938人、世帯数は441世帯、寿地区12町会6番目の規模です。

平地部分は農地で、宅地は少なく、山にへばりついた形の町会となっています。

寿史談会々員で古文書に興味を寄せていた故・百瀬武男さんに生前、下瀬黒町会の歴史についてお聞きしたことを紹介したいと思います。



百瀬武男さん

昔は19世帯の集落でしたが、現在では桑畑も宅地化され、北アルプスを望める見晴らしの良い環境の町会で、転入される方も多く、前記したように多くの世帯・人口となっています。

昔は平坦な地に村や社殿がありました。享保12年(1727)天井川であった牛伏川が氾濫し、村と神社社殿も

享保17年(1732)、現在の山の麓に村や社殿を再建しましたが、その後も古文書

によれば、度重なる洪水が記録されています。そんな悲しい環境も戦後の昭和24年に、住民・農業者が動員されて牛伏川改修工事が開始され、昭和60年

の竣工まで約40年を要しました。

土手には市道三〇一七号線も整備



下瀬黒町会全景

備され現在の下瀬黒町会の環境が出来あがりました。河川改修工事に合わせ、広大な桑畑だった斜面を開拓して、サザン並柳団地が完成し一気に450世帯に膨らみ、町会が大きくなりました。

また下瀬黒町会を見守っている日吉神社は由緒ある神社で、創建は鎌倉時代の正和2年(1313)で、総本山は滋賀県大津市で、旧内務省認

定の村社古社です。

昔の

催事は、青年会で芝居や屋台などがありましたが、

現在は宮司、氏子・奉賛者による元旦祭、本祭り、新嘗祭を盛大に行っています。

日吉神社の山門には、石の鳥居があり寿地区の神社の中で石の鳥居はここだけです。

石の

鳥居は珍しく文化財に値するといわれています。

鳥居は簡単な構造だが、神社の存在を象徴し、聖域への出入り口を表すもので、鳥居の真中には額束の日吉大神が掲げられています。

皆さんも機会がありましたら、ぜひ参拝に来てください。

【館報編集委員 遠藤 勝弘】



日吉神社ほくら



石の鳥居

赤木町会 出前ふれあい健康教室

令和2年2月8日(土)、赤木公民館で赤木町会出前ふれあい健康教室が開催されました。



笑楽講の様子

健康教室が開催されました。古屋町会長の挨拶に始まり、介護予防の講話、健康

康アドバイス、脳トレや体操などがありました。それに続いて、笑楽講の二人によるハーモニカ演奏に合わせ、唱歌や懐メロを会場の皆さんで大合唱。合間に楽しいトークもあり、大変な盛り上がりでした。

昼食を挟み、午後は交通安全教室が行われました。愉快な腹話術や寸劇で大笑しながら、交通安全には「ずくを出す

ことが大切」ということや反射材の重要性を学ぶことができました。



腹話術の様子

【館報編集委員 青木 敬次郎】

令和2年 新年祝賀会

令和2年新年祝賀会が、1月6日(月)、寿公民館大会議室で盛大に開催されました。

まず寿公民館正面玄関前にて、出席者全員で記念写真の撮影に臨み、その後2階大会議室へ移動して祝賀会となりました。

出席者は、松本市会議員の今井ゆうすけ氏、塩原孝子氏、上條三正氏はじめ、財産区議員・町会連合会・公民館長会・民生児童委員の皆さんほか、合計57名になりました。

祝賀会は立食形式。7台のテーブルが用意され、思い思いの場所に着き始め、3月に行われる市長選挙の話、寿地区をどうするかという話、それぞれ

の立場を越えて意見交換が盛んに行われました。



新年祝賀会の様子

【館報編集委員 清水 壽雄】